

作成日 2026 年 5 月 7 日

(臨床研究に関するお知らせ)

パーキンソン病で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

パーキンソン病患者における予約日前受診と衝動強迫行動との関連に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 内科講座 講師 梶本賀義

3. 研究の目的

パーキンソン病では、治療薬に関連して、衝動買い、過食、病的賭博、性欲亢進、薬を必要以上に求める行動などの衝動強迫行動がみられることがあります。本研究では、パーキンソン病患者さんが予約日より前に受診する行動が、こうした衝動強迫行動を疑う手がかりとなるかを明らかにすることを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

パーキンソン病の患者さんで、2024年1月1日から2026年4月30日までの期間中に、パーキンソン病の治療と、QUIP-RS 日本語版による検査を受けた方

(2) 研究期間

研究実施許可日～2028年3月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、西暦 2024 年 1 月から西暦 2026 年 4 月の期間の情報として、年齢、性別、罹病期間、併存疾患、パーキンソン病の重症度 (Hoehn-Yahr 重症度) と運動症状 (UPDRS 運動スコア)、認知機能検査 (MMSE、HDS-R、FAB)、薬剤情報、QUIP-RS 日本語版、予約日前受診の有無と受診理由に関する情報を研究目的で使用予定です。

(5) 方法

対象となる患者さんを、予約日より前に受診した患者さんと、予約日当日に受診した患者さんに分

け、診療録の情報を用いて、衝動強迫行動の有無や QUIP-RS-J の結果、薬剤情報、受診理由などを比較します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院内科講座

担当者：梶本賀義

住所：和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 211

TEL：0736-22-0066 FAX：0736-22-2579

E-mail：y-kajimo@wakayama-med.ac.jp